

## 「平和学習」始まりました

先週より総合的な学習の時間に平和学習が始まりました。人として、日本人としてそして中学生として歴史から学び、これからの社会に生きる一人の人として自分たちにできることは何かを考えていく時間にしていきましょう。

### 【今後の学習予定】

- 平和学習オリエンテーション
- 原爆、戦争の悲惨さについてアニメを通して考える
- 戦争被害の実相を知る
- 戦争における日本の加害の実相を知る
- SDGs16「平和と公正をすべての人に」



### 1/27「はだしのゲン」(アニメ)を視聴しました。皆さんの感想を紹介します。

平和学習で『はだしのゲン』を鑑賞してみて、改めて平和が一番だと思いました。これまで平和についての学習やイベント、行事など様々な事に参加してきましたが、今回の「はだしのゲン」は、今まで以上に平和について学ぶことができました。去年の国語の授業で「火垂るの墓」を鑑賞しました。「火垂るの墓」では、家族愛やみんなの大切さなどを学びました。今日は、その時のことプラス別の観点からも平和について学ぶことができました。今日のDVD鑑賞で改めて戦争の恐ろしさを知りました。普通の生活ができ、家族もいて、普通に学校に通っていて、友達もいる、というこの当たり前が幸せなんだと改めて思いました。これからは今生きていることに感謝し、1日1日を大切にしていきたいです。これからの総合の授業で調べていく「戦争」。どうしてこのことを調べているか、はたして意味のある事なのかを考えながら授業を受けていきたいです。そして来年の修学旅行につなげていきたいです。

ぼくは、ビデオを見て命は大切だなと思いました。あのビデオでは、人が生きるために必死になっていたり、お互いが助け合っていたりして、今の時代とは全然違うなと思いました。今の時代は、簡単に「消えろ」など人を傷つけ、時には人を死に追いやっているからです。自分は人の命を大切にしていじめをしないようにしたいです。そして、している人を見つけたら止めたいです。いじめ、戦争のない世界になってほしいなと思いました。

「はだしのゲン」を見て、戦争の怖さや惨さを改めて実感しました。母や父はもちろん、祖父や祖母も生まれていないようなときにあった戦争でも、ここまで鮮明に伝わってきているので、それだけ衝撃的なことだったんだな、と思いました。母たちから戦争の話は聞いていたけど、実際にアニメで見ると、話で聞くより、圧倒的に衝撃が大きかったです。たくさんの爆弾が一気に落とされる時は被害が大きいけど、一番衝撃的だったのは原爆は1つなのにもっと大きな被害が出るということです。それがすごく怖かったです。ただ、映像で見るよりも、実際に体験した方が何倍も怖いだろうし、あの場にいた人は怖いどころじゃないだろうなと思います。でも、ゲンも「なにがあったんじゃ」と言っていたので、「こわい」とか考える暇もないまま亡くなってしまった人もたくさんいると思いました。3年になったら修学旅行で広島に行きますが、その前にもっと詳しく戦争について知ってから行きたいと思いました。このような戦争の話が自分たちの代で途切れてしまわないように、後世にも伝わっていくように、こんな戦争や原子爆弾がなくなるように自分ができる「精一杯」を尽くしていきたいです。

## 校内書き初め大会

3学期の始業式の日に校内書き初め大会がありました。2年生は、昨年同様講堂にて書き初めを行いました。



## 「命の大切さを学ぶ授業」

1/26 小松市いきいき健康課の方が作成したDVDを視聴して、かけがえのない命を大切にするためにできることを考えました。みなさんの感想を紹介します。

私は生きるために右手を手術した石田さんのように強くなりたいと思いました。悲しいことがあっても前向きに生きられるような人になりたいです。そして、悩み事を相談されてもはぐらかさず真剣に受け止め、親身になって考えてあげたいです。私も悩んでいたなら信頼できる友達に相談して、なるべく抱え込まないようにしようと思いました。

もし自分が簡単に解決できないような悩みを抱えたときは、勇気を出して誰かに相談しようと思った。また、友達に悩みを打ち明けられた時には、相手の気持ちを理解し親身になれる人になりたい。私の周りにはいじめはないと思っているが、そう思っているだけであるかもしれない。もしあったら5つの方法のどれかで助けたい。

たった一つの命だから言葉がグサツときた。病気で生きてくても生きられない人がたくさんいるのに、自分は普段の日常生活で死ぬという言葉を使いすぎていると思った。病気で前向きに生きようとしている人がいるのに、かーい気持ちで「死んだ」とか、「もう無理」とか言うのはちょっと考えなきゃいけないと思った。

小松市いきいき健康課の方のお話を聞いて、あらためて命の大切さがわかりました。石田さんが右腕を切断しても「頑張ってるよ。たった一つの命だから。」というふうに向き合っているところを見て、いじめで悩み苦しんでいて自殺を考えていた子が心を動かされていました。凄いなと思いました。人と人が助け合いみんなで支えあって生きていっているんだな、1人だけで生きていないんだとあらためて自覚しました。これからは誰か一人に限るのではなくみんなの命を大切にしていきたいです。

自分は友達から相談を受けることがあります。けど、どうするのが正解かもわからないし、何もできずにいたことがほとんどでした。だけど今日のビデオを見て正解が分かった気がします。だから、これからは今日分かったことを頭に入れてみんなの相談にのってあげたいです。たった一つの命。簡単に考えてはいけません。それを改めて今日思いました。つらいことがない、幸せしかない、そんなことはあり得ないし、何があっても自ら命を絶つことはしないようにします。今日で学んだことがたくさんあるから、それをしっかり活かしていきたいです。

小松市いきいき健康課の動画を見て、石田さんの話を初めて知りました。骨肉腫で右腕を失っても、前向きに生き続けた石田さんはすごいな、と思いました。自分が石田さんの立場になったら、こんな前向きに生きていけないと思います。それでも、石田さんは前向きに生きて、無意識だとしても人の命も救ってすごいと思いました。自分は、友達がいじめに遭っていたり何か悩んでいたら、友達の心の不調に気付いてあげて、親身に話を聞いてあげたり、しっかりと受け入れてあげたりして、その子のことを助けてあげたいです。

今日の話聞いて、石田さんの話が一番心に残りました。自分の一つ下の年齢で「生きたい」と決断して、手術を受けて「腕がなくても、頑張ってるよ。たった一つの命だから」と年賀状に書くことはそうそうできることではないと思います。そして、その年賀状で誰かに影響をあたえていて本当に凄いなと思います。自分は「生きたい」という思いがよりいっそう強くなりました。これからは一日一日を頑張ってる生きようと思いました。

石田さんは「たった一つの命だから」と亡くなる直前まで生きようとしてすごいなあ、偉いなあと思いました。私だったらこんな勇気が出ないと思ったからです。そんな石田さんに救われて一人の女の子が自殺を思いとどまったという話を聞いて私は涙が出そうになりました。ひどいいじめを受けていたのにその言葉で人に相談する勇気が出て女の子が助かったので言葉の力ってすごいなと思いました。私も一人で抱え込まず勇気を出して相談したいです。そして友達の気持ちにも気を配り困っていたら傾聴してあげたいです。

私はこのビデオをみて共感したことは、「自分の代わりになる人はいない」ということです。この世界にはたくさんの人々がいますが、自分自身の代わりになる人はいないことに気がきました。このことは自分だけではなく周り人たち全員のことでもあると思いました。なので、私は自分のたった一つの命を大切に、誰かのたった一つの命を大切にしようと思いました。

